

総 務 文 教 委 員 会

令和 2 年 5 月 21 日 (木)
10 時 00 分 ~ 時 分
全 員 協 議 会 室

【委 員】 西村委員長、芦谷副委員長
三浦委員、西川委員、上野委員、永見委員、西田委員、牛尾委員

【委員外】

【議長団】

【総務文教委員会 所管管理職】

(市長公室) 西川市長公室長

(総 務 部) 坂田総務部長 (行財政改革推進課長)、佐々木総務課長、池田総務課副参事、
馬場防災安全課長、湯浅特別定額給付金室長、山根人事課長、河内財政課長、
戸田契約管理課長

(地域政策部) 岡田地域政策部長、邊地域政策部副部長 (まちづくり推進課長)、
大屋政策企画課長、川合定住関係人口推進課長、

(金城支所) 篠原支所長、佐々尾防災自治課長

(旭 支 所) 佐々尾支所長、細川防災自治課長

(弥栄支所) 外浦支所長、三浦防災自治課長

(教育委員会) 石本教育長、河上教育部長、猪木迫教育部参事、草刈教育総務課長、
龍河教育総務課副参事、市原学校教育課長、村瀧学校教育課副参事、
鳥居学校教育課学力向上推進室長、
村木生涯学習課長、濱見文化振興課長

(選挙管理委員会) 木原選挙管理委員会事務局長

(消防本部) 琴野消防長、宇津総務課長、森下警防課長、齋藤通信指令課長、
本田消防署長、伏田西部消防署長

【事務局】 下間書記

【議 題】

1 執行部報告事項

- | | |
|--|----------------|
| (1) 令和 2 年度浜田市総合防災訓練について | 【防災安全課】 |
| (2) 令和元年度空き家バンク制度利用状況について | 【定住関係人口推進課】 |
| (3) 浜田市地域協議会委員の選任について | 【まちづくり推進課】 |
| (4) 島根県立大学等の入学状況について | 【まちづくり推進課】 |
| (5) 敬老福祉乗車券交付事業及び運転免許自主返納支援事業の申請状況について | 【まちづくり推進課】 |
| (6) 浜田市生活路線バス等の利用実績について | 【まちづくり推進課】 |
| (7) 石見交通路線バスの減便等に伴う対応について | 【まちづくり推進課】 |
| (8) 令和元年度学力向上総合対策事業実績報告書について | 【学校教育課学力向上推進室】 |
| (9) 令和元年度青少年サポートセンターの利用状況について | 【学校教育課】 |
| (10) 浜田市社会教育アドバイザーの委嘱及び令和元年度の活動について | 【生涯学習課】 |

- | | |
|--|---------|
| (11) 特色あるふるさと教育事例集及び海洋教育実施概要集について | 【生涯学習課】 |
| (12) 令和元年度 浜田市立図書館全館の利用状況 | 【生涯学習課】 |
| (13) 浜田市立図書館の機器入替にかかる臨時休館期間の変更について | 【生涯学習課】 |
| (14) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う令和2年度芸術文化事業の延期・中止について | 【文化振興課】 |
| (15) 浜田城下町案内板について | 【文化振興課】 |
| (16) 浜田市の歴史読本の刊行について | 【文化振興課】 |
| (17) 浜田市の AED 設置場所等の公開方法変更 | 【警防課】 |
| (18) 消防団車庫統合について | 【警防課】 |
| (19) 消防救急無線デジタル化整備における談合の対応について | 【通信指令課】 |
| (20) その他 | |
| (配布物) | |
| ・令和2年度園児・児童・生徒数一覧について | 【学校教育課】 |
| ・令和2年度学校職員名簿について | 【学校教育課】 |
| ・令和2年度公民館職員名簿について | 【生涯学習課】 |

2 その他

3 取組課題「こどもの可能性を育む幼児教育について」

令和 2 年 5 月 21 日
総務文教委員会資料
総務部防災安全課

令和 2 年度浜田市総合防災訓練について

例年 6 月に開催している浜田市総合防災訓練について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から下記のとおりとします。

記

- 1 当初訓練予定日（6 月 14 日(日)）については、中止とします。
- 2 年度内の開催については、今後の流行状況等を勘案しながら検討します。

令和元年度空き家バンク制度利用状況について

(令和2年3月31日現在)

		浜田市	浜田	金城	旭	弥栄	三隅
空き家バンク登録台帳 登録物件数累計 (A+B) ①		334件	187件	31件	26件	13件	77件
	平成21年度(※1)	35件	5件	3件	7件	6件	14件
	平成22年度	46件	33件	2件	3件	2件	6件
	平成23年度	20件	8件	1件	2件	1件	8件
	平成24年度	9件	5件	0件	0件	0件	4件
	平成25年度	7件	3件	1件	2件	0件	1件
	平成26年度	13件	9件	1件	3件	0件	0件
	平成27年度	31件	23件	3件	1件	0件	4件
	平成28年度	66件	48件	5件	3件	0件	10件
	平成29年度	71件	40件	11件	3件	3件	14件
	平成30年度	81件	53件	3件	4件	3件	18件
	令和元年度	70件	39件	8件	6件	3件	14件
抹消物件数 (※2)		115件	79件	7件	8件	5件	16件
A 入居済物件数 ②		272件	155件	23件	24件	10件	60件
令和元年度		56件	35件	5件	5件	3件	8件
入居率 ②/①		81.4%	82.9%	74.2%	92.3%	76.9%	77.9%
U・Iター ン者入居	世帯数	95世帯	45世帯	3世帯	10世帯	7世帯	30世帯
	令和元年度	14世帯	8世帯	0世帯	1世帯	1世帯	4世帯
	人数	191人	75人	7人	26人	11人	72人
	令和元年度	27人	14人	0人	2人	3人	8人
市内転居者入居世帯		177世帯	110世帯	20世帯	14世帯	3世帯	30世帯
令和元年度		42世帯	27世帯	5世帯	4世帯	2世帯	4世帯
B 紹介物件数 (未入居物件数) ①-②		62件	32件	8件	2件	3件	17件
賃貸希望物件		18件	4件	4件	2件	1件	7件
売買希望物件		42件	28件	3件	0件	2件	9件
賃貸又は売買希望物件		2件	0件	1件	0件	0件	1件

※1 平成21年度「登録物件数」は、平成21年9月2日から平成22年3月31日までの登録数。

※2 「抹消物件数」は、空き家バンク登録後において空き家バンク利用登録者以外の者との契約による抹消、または所有者の都合により抹消したもの。

浜田市地域協議会委員の選任について

令和2年4月1日から1年間の任期で、次のとおり浜田市地域協議会委員を選任し、各自治区の正副会長が決定しましたので報告します。

浜田市地域協議会委員名簿

【任期】令和2年4月1日～令和3年3月31日（1年間）

自治区	役職	氏 名（ふりがな）	性別
浜田 15人	会長	村井 栄美子（むらい えみこ）	女
	副会長	井戸 静志（いど せいし）	男
	副会長	竹山 勝彦（たけやま かつひこ）	男
		熱田 純子（あつた じゅんこ）	女
		磯野 光孝（いその みつたか）	男
		佐古 肇徳（さこ はつよし）	男
		滝本 武夫（たきもと たけお）	男
		田子 ヨシエ（たご よしえ）	女
		辻野 一正（つじの くにまさ）	男
		原田 豊（はらだ ゆたか）	男
		肥塚 由美子（ひづか ゆみこ）	女
		平野 公望（ひらの こうぼう）	男
		細川 良一（ほそかわ りょういち）	男
		宮下 義重（みやした よししげ）	男
		宮田 弘（みやた ひろし）	男
金城 15人	会長	渡辺 学（わたなべ まなぶ）	男
	副会長	岩田 博子（いわた ひろこ）	女
		井川 光秀（いかわ みつひで）	男
		岡本 朋博（おかもと ともひろ）	男
		米谷 憲二（こめたに けんじ）	男
		静本 孝司（しずもと たかし）	男
		高橋 猛博（たかはし たけひろ）	男
		田中 豊明（たなか とよあき）	男
		塚本 守（つかもと まもる）	男
		野田 美和子（のだ みわこ）	女
		榎田 米利（まきだ よねとし）	男
		宮本 小夜子（みやもと さよこ）	女
		宮本 美保子（みやもと みほこ）	女
		毛利 まつみ（もうり まつみ）	女
		渡邊 庄信（わたなべ しょうしん）	男
旭 15人	会長	塚崎 育生（つかざき やすなり）	男
	副会長	岡山 令子（おかやま れいこ）	女
		岩谷 欣吾（いわたに きんご）	男
		大賀 恭二（おおが きょうじ）	男
		大賀 秀輝（おおが ひでき）	男
		大屋 美根子（おおや みねこ）	女
		大屋 美和香（おおや みわか）	女
		清瀬 猛（きよせ たけし）	男
		阪本 憲治（さかもと けんじ）	男
		新森 増美（しんもり ますみ）	男
		徳川 博（とくがわ ひろし）	男
		服部 裕之（はっとり ひろゆき）	男
		文田 美奈子（ふみた みなこ）	女
		村武 謙司（むらたけ けんじ）	男
		吉岡 哲志（よしおか てつし）	男
弥栄 15人	会長	賀戸 ひとみ（かど ひとみ）	女
	副会長	岡本 薫（おかもと かおる）	男
		大谷 重信（おおたに しげのぶ）	男
		大塚 美穂（おおつか みほ）	女
		小笠原 詞子（おがさわら のりこ）	女
		岡田 輝昭（おかだ てるあき）	男
		岡本 均（おかもと ひとし）	男
		奥本 千栄子（おくもと ちえこ）	女
		小松原 峰雄（こまつばら みねお）	男
		田中 真也（たなか しんや）	男
		前田 清秀（まえた きよひで）	男
		三浦 寿紀（みうら ひさのり）	男
		三浦 寛章（みうら ひろふみ）	男
		山根 久治（やまね ひさはる）	男
		山本 久男（やまもと ひさお）	男
三隅 15人	会長	石田 義生（いしだ よしお）	男
	副会長	野上 理（のがみ さだむ）	男
		荒木 聖子（あらき さとこ）	女
		石川 正史（いしかわ まさし）	男
		大山 祐司（おおやま ゆうじ）	男
		岡田 綾子（おかだ あやこ）	女
		吉川 律子（きつかわ りつこ）	女
		木村 正行（きむら まさゆき）	男
		齋藤 正美（さいとう まさみ）	男
		佐々木 顕友（ささき あきとも）	男
		佐渡村 積（さどむら つもる）	男
		丸山 洋司（まるやま ようじ）	男
		丸山 義尚（まるやま よしなお）	男
		三浦 幸治（みうら こうじ）	男
		山岡 哲夫（やまおか てつお）	男

※ 網掛け：新任委員

1 島根県立大学（浜田キャンパス）の入学状況について（令和2年4月8日現在）

（1）入学者数の状況

《総合政策学部 総合政策学科》（入学者選抜）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般選抜(前期)	155 名	143 名	100 名
一般選抜(後期)	22 名	16 名	57 名
特別入試	3 名	2 名	3 名
自己推薦	79 名	74 名	78 名
合 計	259 名	235 名	238 名

（参考）

《総合政策学部 総合政策学科》（3年次編入・交換留学生）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3年次編入	3 名	0 名	0 名
交換留学生	6 名	5 名	2 名
合 計	9 名	5 名	2 名

《大学院 北東アジア開発研究科》

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
合 計	7 名	7 名	5 名

（2）《出身地別入学者の状況》（詳細：裏面参照）

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
島根県内	61 名	46 名	65 名
内 浜田市	9 名	7 名	9 名
島根県外	198 名	189 名	173 名
合 計	259 名	235 名	238 名

(3) 出身地別入学者の状況

《島根県内》

市町村名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
松江市	14名	4名	19名
浜田市	9名	7名	9名
出雲市	20名	15名	9名
益田市	3名	1名	2名
大田市	3名	4名	3名
安来市	4名	3名	2名
江津市	4名	1名	7名
雲南市	0名	3名	4名
奥出雲町	1名	2名	1名
飯南町	0名	3名	2名
川本町	0名	1名	1名
美郷町	0名	0名	0名
邑南町	1名	0名	2名
津和野町	1名	0名	2名
吉賀町	1名	0名	2名
海士町	0名	0名	0名
西ノ島町	0名	0名	0名
知夫村	0名	0名	0名
隠岐の島町	0名	2名	0名
合 計	61名	46名	65名

《島根県外》

都道府県名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
広島県	33名	31名	27名
兵庫県	11名	14名	17名
岡山県	15名	13名	14名
鳥取県	9名	15名	6名
愛媛県	13名	12名	8名
上記以外	117名	104名	101名
合 計	198名	189名	173名

2 リハビリテーションカレッジ島根の入学状況について（令和2年4月8日現在）

（1）学科別入学者の状況

科 名	定 員	平成30年度	令和元年度	令和2年度
理学療法学科	40名	35名	25名	20名
作業療法学科	40名	6名	10名	17名
言語聴覚学科	40名	14名	20名	11名
合 計	120名	55名	55名	48名

（2）出身地別入学者の状況

市町村名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
松 江 市	0名	1名	0名
浜 田 市	9名	6名	5名
出 雲 市	1名	1名	0名
益 田 市	4名	13名	9名
大 田 市	4名	2名	0名
安 来 市	0名	0名	2名
江 津 市	4名	4名	1名
雲 南 市	1名	1名	0名
邑 智 郡	2名	1名	2名
鹿 足 郡	0名	0名	1名
合 計	25名	29名	20名
広 島 県	13名	12名	3名
岡 山 県	0名	0名	1名
鳥 取 県	0名	0名	1名
山 口 県	1名	5名	2名
東 京 都	2名	0名	0名
神 奈 川 県	1名	0名	0名
栃 木 県	1名	0名	0名
大 阪 府	0名	0名	1名
兵 庫 県	1名	1名	0名
愛 媛 県	0名	0名	0名
福 岡 県	0名	1名	0名
沖 縄 県	5名	6名	10名
中 国	6名	1名	8名
ネパール	0名	0名	2名
合 計	30名	26名	28名
総 合 計	55名	55名	48名

3 浜田ビューティーカレッジの入学状況について（令和2年4月8日現在）

（1）学科別入学者の状況

学 科 名	定 員	平成30年度	令和元年度	令和2年度
専門課程（美容科）	20 名	4 名	5 名	2 名
高等課程（美容科）	20 名	2 名	3 名	5 名
通信課程（美容科）	20 名	0 名	5 名	1 名
合 計	60 名	6 名	13 名	7 名

※修業年数・・・ 専門課程⇒2 年 高等課程・通信課程⇒3 年

※通信課程は、10 月入学のため、現段階では 0 名

※平成 29 年度から高等課程入学者は、併せて浜田高等学校通信制へ入学し、高校卒業資格を得られる仕組みを導入。

（2）出身地別入学者の状況

市町村名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
松 江 市	0 名	3 名	1 名
浜 田 市	2 名	5 名	2 名
出 雲 市	0 名	2 名	2 名
益 田 市	1 名	2 名	1 名
大 田 市	1 名	0 名	0 名
安 来 市	1 名	0 名	0 名
江 津 市	1 名	0 名	0 名
雲 南 市	0 名	0 名	0 名
邑 智 郡	0 名	0 名	0 名
鹿 足 郡	0 名	0 名	1 名
県内合計	6 名	12 名	7 名
京 都 府	0 名	1 名	0 名
総 合 計	6 名	13 名	7 名

敬老福祉乗車券交付事業及び運転免許自主返納支援事業の申請状況等について

1 敬老福祉乗車券交付事業

(1) 事業開始 平成 28 年 7 月 1 日（金）

(2) 事業概要

市内に住所のある 70 歳以上の高齢者に対して市内の公共交通機関で利用できる 1 冊 3,000 円分の乗車券を 1,500 円で交付する。

※ 平成 29 年度まで交付上限 10 冊、平成 30 年度は交付上限 10 冊または 12 冊
令和元年度は交付上限 10 冊または 15 冊（上限はお住まいの住所による）

※ 令和元年度に制度見直しを実施。より使いやすい制度に使用方法を一部変更。

(3) 申請状況（令和元年度）

カッコ内：平成 30 年度からの増減

自治区	年度	申請者数 ①	交付冊数 ②	1 人当 交付冊数 (②/①)	対象者数 (③)	交付率 (①/③)
浜田	元年度	3,250 人 (+941 人)	25,757 冊 (+9,791 冊)	7.9 冊 (+1.0 冊)	10,674 人 (+107 人)	30.4% (+8.5%)
	30 年度	2,309 人	15,966 冊	6.9 冊	10,567 人	21.9%
	29 年度	2,290 人	16,732 冊	7.3 冊	10,306 人	22.2%
	28 年度	2,635 人	17,362 冊	6.6 冊	9,967 人	26.4%
金城	元年度	288 人 (+62 人)	2,727 冊 (+848 冊)	9.5 冊 (+1.2 冊)	1,287 人 (+47 人)	22.4% (+4.2%)
	30 年度	226 人	1,879 冊	8.3 冊	1,240 人	18.2%
	29 年度	210 人	1,735 冊	8.3 冊	1,219 人	17.2%
	28 年度	271 人	2,002 冊	7.4 冊	1,194 人	22.7%
旭	元年度	195 人 (+93 人)	1,601 冊 (+968 冊)	8.2 冊 (+2.0 冊)	904 人 (+5 人)	21.6% (+10.3%)
	30 年度	102 人	633 冊	6.2 冊	899 人	11.3%
	29 年度	137 人	771 冊	5.6 冊	900 人	15.2%
	28 年度	120 人	605 冊	5.0 冊	912 人	13.2%
弥栄	元年度	141 人 (+24 人)	1,154 冊 (+415 冊)	8.2 冊 (+1.9 冊)	515 人 (+6 人)	27.4% (+4.4%)
	30 年度	117 人	739 冊	6.3 冊	509 人	23.0%
	29 年度	138 人	879 冊	6.4 冊	514 人	26.8%
	28 年度	138 人	807 冊	5.8 冊	504 人	27.4%
三隅	元年度	409 人 (+86 人)	3,432 冊 (+1,257 冊)	8.4 冊 (+1.7 冊)	1,995 人 (+10 人)	20.5% (+4.2%)
	30 年度	323 人	2,175 冊	6.7 冊	1,985 人	16.3%
	29 年度	345 人	2,305 冊	6.7 冊	1,964 人	17.6%
	28 年度	408 人	2,478 冊	6.1 冊	1,904 人	21.4%
合計	元年度	4,283 人 (+1,206 人)	34,671 冊 (+13,279 冊)	8.1 冊 (+1.1 冊)	15,375 人 (+175 人)	27.9% (+7.7%)
	30 年度	3,077 人	21,392 冊	7.0 冊	15,200 人	20.2%
	29 年度	3,120 人	22,422 冊	7.2 冊	14,903 人	20.9%
	28 年度	3,572 人	23,254 冊	6.5 冊	14,481 人	24.7%

※ 対象者数は、各年度の 3 月 31 日現在。

(4) 乗車券の利用状況（令和元年度）

交通種別	利用額	割合
路線バス（路線バス、高速バス、おおなんバス）	25,743,400 円	25.7%
タクシー（タクシー、福祉有償運送）	71,342,600 円	71.2%
市主管交通（市生活路線バス、市乗合タクシー）	2,876,100 円	2.8%
自治会輸送	300,000 円	0.3%
合 計	100,262,100 円	100.0%

※令和元年度予算額：105,574,000 円

※障がい者への乗車券交付分も含む

【参考：障がい者無料交付分（令和元年度）】

カッコ内：平成 30 年度からの増減

自治区	年度	申請者数 (A)	対象者数 (C)	交付率 (A/C)
浜田	元年度	818 人 (+18 人)	1,326 人 (+6 人)	61.7% (+1.1%)
	30 年度	800 人	1,320 人	60.6%
金城	元年度	89 人 (+5 人)	174 人 (-8 人)	51.1% (+4.9%)
	30 年度	84 人	182 人	46.2%
旭	元年度	24 人 (+1 人)	73 人 (-5 人)	32.9% (+3.4%)
	30 年度	23 人	78 人	29.5%
弥栄	元年度	20 人 (-1 人)	54 人 (+4 人)	37.0% (-5.0%)
	30 年度	21 人	50 人	42.0%
三隅	元年度	72 人 (+7 人)	208 人 (-18 人)	34.6% (+5.8%)
	30 年度	65 人	226 人	28.8%
合計	元年度	1,023 人 (+30 人)	1,835 人 (-21 人)	55.7% (+2.2%)
	30 年度	993 人	1,856 人	53.5%

資料：健康福祉部地域福祉課提供

2 運転免許自主返納支援事業

(1) 事業開始 平成 29 年 1 月 4 日（月）

(2) 事業概要

敬老福祉乗車券交付対象者のうち、平成 28 年 7 月 1 日以降に全ての運転免許を自主返納した人に対して敬老福祉乗車券 5 冊（15,000 円分）を無料で交付する。

※ 返納後 1 回限り

(3) 申請状況

ア 自治区別

自治区 年度	浜田	金城	旭	弥栄	三隅	合計
元年度	291 人	24 人	19 人	14 人	54 人	402 人
30 年度	135 人	12 人	9 人	9 人	19 人	184 人
29 年度	195 人	17 人	23 人	11 人	27 人	273 人
28 年度	111 人	12 人	4 人	6 人	12 人	145 人
合計	732 人	65 人	55 人	40 人	112 人	1,004 人

イ 免許返納時期別

返納時期		人数	備考
元年度	4 月 1 日～3 月 31 日	325 人	
30 年度	4 月 1 日～3 月 31 日	243 人	
29 年度	4 月 1 日～3 月 31 日	266 人	
28 年度	1 月 4 日～3 月 31 日	103 人	申請受付開始
	12 月 13 日～12 月 28 日	12 人	12 月 13 日～ 各メディアで報道
	7 月 1 日～12 月 12 日	55 人	事業公表前
合 計		1,004 人	

【参考：70 歳以上の運転免許自主返納者数の推移（浜田市）】

	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
70 歳以上 自主返納者数	249 人	294 人	264 人	369 人

浜田市生活路線バス等の利用実績について

1 浜田市生活路線バスの利用実績

路線名	系統名等	利用者数 [A]			運行便数[B] (上段:平成30年度実績)	1便当たり 利用者数 [A/B]
		平成30年度	令和元年度	増減 〔前年度比〕		
金城	雲城美又線 (SB)	45人	57人	12 〔126.7%〕	(244便) 241便	(0.2人) 0.2人
	雲城久佐線 (SB)	122人	117人	▲ 5人 〔95.9%〕	(244便) 241便	(0.5人) 0.5人
	雲城久佐美又線	394人	390人	▲ 4人 〔99.0%〕	(789便) 785便	(0.5人) 0.5人
	雲城今福線 (回送活用便)	26人	11人	▲ 15人 〔42.3%〕	(149便) 149便	(0.2人) 0.1人
	小 計	587人	575人	▲ 12人 〔98.0%〕	(1,426便) 1,416便	(0.4人) 0.4人
旭	木田線 (SB)	375人	179人	▲ 196人 〔47.7%〕	(1,966便) 1,929便	(0.2人) 0.1人
	戸川線 (SB)	2,573人	2,128人	▲ 445人 〔82.7%〕	(2,502便) 2,508便	(1.0人) 0.8人
	瑞穂線 (SB)	994人	912人	▲ 82人 〔91.8%〕	(2,186便) 2,169便	(0.5人) 0.4人
	小 計	3,942人	3,219人	▲ 723人 〔81.7%〕	(6,654便) 6,606便	(0.6人) 0.5人
弥栄 野原	小 計	2,722人	2,702人	▲ 20人 〔99.3%〕	(2,464便) 2,480便	(1.1人) 1.1人
三隅	循環線	8,340人	8,565人	225人 〔102.7%〕	(3,775便) 3,779便	(2.2人) 2.3人
	井野室谷線	562人	350人	▲ 212人 〔62.3%〕	(161便) 152便	(3.5人) 2.3人
	諸谷平原線	680人	470人	▲ 210人 〔69.1%〕	(150便) 147便	(4.5人) 3.2人
	平原森溝線	182人	166人	▲ 16人 〔91.2%〕	(86便) 86便	(2.1人) 1.9人
	白砂西河内線	694人	591人	▲ 103人 〔85.2%〕	(196便) 192便	(3.5人) 3.1人
	井野三隅線	1,431人	1,353人	▲ 78人 〔94.5%〕	(924便) 930便	(1.5人) 1.5人
	周布地今明線	1,518人	1,314人	▲ 204人 〔86.6%〕	(368便) 372便	(4.1人) 3.5人
	石浦小原線	820人	642人	▲ 178人 〔78.3%〕	(210便) 204便	(3.9人) 3.1人
	黒沢矢原線	3,218人	3,073人	▲ 145人 〔95.5%〕	(1,872便) 1,877便	(1.7人) 1.6人
	黒沢小原線	2,265人	2,034人	▲ 231人 〔89.8%〕	(312便) 301便	(7.3人) 6.8人
	矢原岡見線	436人	314人	▲ 122人 〔72.0%〕	(104便) 104便	(4.2人) 3.0人
	岡見海老谷線	341人	311人	▲ 30人 〔91.2%〕	(150便) 147便	(2.3人) 2.1人
	小 計	20,487人	19,183人	▲ 1,304人 〔93.6%〕	(8,308便) 8,291便	(2.5人) 2.3人
合 計		27,738人	25,679人	▲ 2,059人 〔92.6%〕	(18,852便) 18,793便	(1.5人) 1.4人

(注) 金城路線及び旭路線の「(SB)」表示のある系統については、スクールバスの一般混乗便を運行しているが、集計は、一般利用者のみの数値

2 浜田市予約型乗合タクシーの利用実績

自治区	地区名等	利用者数 [A]			計画便数 [B]	運行便数 [C]	稼働率 [C/B]	1便当たり 利用者数 [A/B]
		平成30年度	令和元年度	増減 〔前年度比〕				
		(上段:平成30年度実績)						
浜田	三階長見線	640人	419人	▲ 221人 〔65.5%〕	(576便) 568便	(308便) 276便	(53.5%) 48.6%	(1.1人) 0.7人
	美川線	1,134人	1,126人	▲ 8人 〔99.3%〕	(576便) 568便	(390便) 383便	(67.7%) 67.4%	(2.0人) 2.0人
	小 計	1,774人	1,545人	▲ 229人 〔87.1%〕	(1,152便) 1,136便	(698便) 659便	(60.6%) 58.0%	(1.5人) 1.4人
金城	小国・波佐線	789人	640人	▲ 149人 〔81.1%〕	(288便) 284便	(257便) 244便	(89.2%) 85.9%	(2.7人) 2.3人
	美又線	53人	137人	84人 〔258.5%〕	(98便) 100便	(43便) 72便	(43.9%) 72.0%	(0.5人) 1.4人
	久佐線	184人	155人	▲ 29人 〔84.2%〕	(197便) 198便	(98便) 71便	(49.7%) 35.9%	(0.9人) 0.8人
	小 計	1,026人	932人	▲ 94人 〔90.8%〕	(583便) 582便	(398便) 387便	(68.3%) 66.5%	(1.8人) 1.6人
旭	木田・山ノ内線	182人	186人	4人 〔102.2%〕	(138便) 134便	(80便) 69便	(58.0%) 51.5%	(1.3人) 1.4人
	和田線	98人	92人	▲ 6人 〔93.9%〕	(136便) 134便	(64便) 60便	(47.1%) 44.8%	(0.7人) 0.7人
	坂本・都川線	166人	199人	33人 〔119.9%〕	(150便) 144便	(68便) 86便	(45.3%) 59.7%	(1.1人) 1.4人
	市木・来尾線	243人	186人	▲ 57人 〔76.5%〕	(106便) 100便	(50便) 47便	(47.2%) 47.0%	(2.3人) 1.9人
	小 計	689人	663人	▲ 26人 〔96.2%〕	(530便) 512便	(262便) 262便	(49.4%) 51.2%	(1.3人) 1.3人
弥栄	横谷・程原線	395人	425人	30人 〔107.6%〕	(86便) 86便	(84便) 84便	(97.7%) 97.7%	(4.6人) 4.9人
	山賀・畑線	401人	452人	51人 〔112.7%〕	(102便) 98便	(100便) 98便	(98.0%) 100.0%	(3.9人) 4.6人
	田野原・的野線	203人	127人	▲ 76人 〔62.6%〕	(96便) 98便	(74便) 68便	(77.1%) 69.4%	(2.1人) 1.3人
	安城・杵束線 (眼科便)	50人	78人	28人 〔156.0%〕	(23便) 22便	(18便) 22便	(78.3%) 100.0%	(2.2人) 3.5人
	小 計	1,049人	1,082人	33人 〔103.1%〕	(307便) 304便	(276便) 272便	(89.9%) 89.5%	(3.4人) 3.6人
合 計		4,538人	4,222人	▲ 316人 〔93.0%〕	(2,572便) 2,534便	(1,634便) 1,580便	(63.5%) 62.4%	(1.8人) 1.7人

石見交通路線バスの減便等に伴う対応について

石見交通(株)が 5 月 1 日(金)に実施された路線バスの減便及びダイヤ変更に伴う対応について、下記のとおり報告します。

1 波佐線

	ダイヤ (変更前)	変更内容	影 響	対 応
①	東谷下 6:49→ (浜田ダム経由) →周布 8:19	廃止	金城町七条在住の高校生(4人)の登校手段が無くなる。	(浜田高校 3 人) バス停「伊木」～「七条(国道)」までの送り便(タクシー)を運行。 (浜田商業高校 1 人) ②のダイヤ変更。
②	東谷下 7:03→ (辻堂経由) →周布 8:39	出発時間を 10 分早める	生活路線バス(金城路線)からの乗り継ぎが不可となった。	生活路線バス(金城路線)のダイヤ変更。
③	東谷下 14:11→ (浜田ダム経由) →周布 15:37	出発時間を 92 分遅くする	雲城小低学年児童(1人)の下校時間が遅くなる。	下校便(タクシー)を運行。
④	金城中学 16:17→ (辻堂経由) →周布 17:03	廃止	—	—
⑤	周布 14:04→ (浜田ダム経由) →東谷下 19:03	廃止	—	—
⑥	周布 17:36→ (浜田ダム経由) →東谷下 19:03	廃止	金城町小国在住の金城中生徒(12人)の下校手段がなくなる	下校便(バス)を運行。

2 浜田益田線

折居止めを廃止。

【浜田駅 18:13→(旧道経由)→折居 18:48】

⇒【浜田駅 18:13→(旧道経由)→周布 18:42】

折居町在住の生徒(4人)は、下校時間の調整や J R の利用などにより対応可能。

3 その他路線(大学線、弥栄線、櫟田原線)

具体的な影響情報はないため、対応なし。



令和元年度 青少年サポートセンターの利用状況について

青少年サポートセンターの令和元年度における相談状況等は、以下のとおりです。

【延べ相談件数】

(件)

		学校問題		家庭問題		対人・社会問題		個人問題	非行問題	その他	合 計
		不登校		ひきこもり		就労					
R元年度	20歳未満	436	415	141	14	34	0	159	61	0	831
	20歳以上	2	0	192	196	48	23	167	0	0	409
	合 計	438	415	333	210	82	23	326	61	0	1,240
H30年度	20歳未満	380	353	155	38	37	1	80	23	0	675
	20歳以上	12	1	248	245	27	18	168	0	3	458
	合 計	392	354	403	283	64	19	248	23	3	1,133

【相談対象人数】

(人)

R元年度	20歳未満	小・中学生	8	8	1	0	0	0	1	3	0	13
		高校生	1	1	0	0	0	0	0	1	0	2
		定・通・専・フ	13	11	2	0	1	0	2	0	1	19
		その他	0	0	5	2	0	0	1	0	0	6
	小 計		22	20	8	2	1	0	4	4	1	40
	20歳以上		1	0	18	17	10	5	15	0	0	44
	合 計		23	20	26	19	11	5	19	4	1	84
H30年度	20歳未満	小・中学生	10	10	1	0	0	0	0	0	0	11
		高校生	2	2	1	0	0	0	1	1	0	5
		定・通・専・フ	15	12	0	0	0	0	1	0	1	17
		その他	1	1	4	4	0	0	1	1	0	7
	小 計		28	25	6	4	0	0	3	2	1	40
	20歳以上		1	0	26	25	11	10	6	0	0	44
	合 計		29	25	32	29	11	10	9	2	1	84

【若年無業者の状況】

() はR元年度中の就労者数

単位：人

	相談・支援対象人数			内 ひきこもり			内 ニート		
		継続	新規		継続	新規		継続	新規
20歳未満	3 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
20歳以上	23 (3)	22 (3)	1 (0)	17 (3)	16 (3)	1 (0)	6 (0)	6 (0)	0 (0)
合 計	26 (3)	24 (3)	2 (0)	19 (3)	18 (3)	1 (0)	7 (0)	6 (0)	1 (0)

【居場所利用状況】

	利用人数	1日平均 利用人数	利 用 回 数						
			学習室	調理室	作業室	音楽室	休憩室	相談室	計
R元年度	973	4.06	340	116	572	4	25	133	1,190
H30年度	1,044	4.28	305	148	782	2	13	69	1,319

浜田市社会教育アドバイザーの委嘱及び令和元年度の活動について

1 設置目的

市民の社会教育活動を推進し、地域づくりを担う人材の育成、地域と学校の連携・協働を進めていく上で、浜田市の今後の社会教育の方向性、社会教育施設のあり方について指導・助言をもらう。

2 職務

- (1) 「浜田市教育大綱」の理念実現のための調査・研究
- (2) 社会教育活動並びに家庭教育の支援に係る指導及び助言
- (3) 社会教育活動の推進及び家庭教育の支援
- (4) 社会教育及び家庭教育に係る関係機関、関係団体等の連携及び連絡
- (5) 社会教育及び家庭教育に係る学習活動の情報収集及び提供
- (6) 学校及び地域住民その他の関係者が協力して行う教育活動に係る助言
- (7) 社会教育施設の運営に係る助言
- (8) その他の社会教育施策及び家庭教育に係る施策の推進

3 アドバイザー選任

長畑 実 氏(再々選任)

4 委嘱期間

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

5 令和元年度活動報告（抜粋）

(1) 地域等からの依頼による講演会・講評活動

- ア 8 月 2 日：白砂公民館吉本主事、白砂地域福祉推進協議会大崎会長が来庁され、白砂地区小地域福祉活動計画策定に向けたアドバイザーとして参画する委嘱を受け、今後の進め方について協議を行った。
- イ 9 月 7 日：白砂地区小地域福祉活動計画策定委員会に出席し、策定に向けた取り組みについてアドバイスをを行った。
- ウ 9 月 26 日：第 2 回公民館新任職員研修会において、「人口減少・超高齢社会における公民館活動の推進に向けて」と題した講義を行った。
- エ 11 月 20 日：協働のまちづくり条例検討委員会において「市民参画と協働のまちづくり」をテーマとして講演を行った。
- オ 2020 年 1 月 16 日：公民館のコミュニティセンター化検討部会関係課会議に出席し「社会教育と生涯学習」について講演を行った。
- カ 2 月 11 日：協働のまちづくりフォーラムに出席し、パネルディスカッションのコーディネ

ーターを務めた。

キ 3月12日：三隅町岡見地区自治振興会からの依頼により、岡見公民館において自治会長を対象とした研修会で「みんなが主役の地域づくり～住民自治と協働のまちづくり」と題した講演を行った。

ク 3月24日：白砂公民館吉本主事、白砂地域福祉推進協議会大崎会長が来庁され、白砂地区小地域福祉活動計画策定に向けた住民アンケートの分析依頼を受けて作成した資料に基づき、内容と今後の進め方についてアドバイスをを行った。

(2) 社会教育委員の会等主な会議への出席とアドバイス活動

ア 4月23日：定例教育委員会に出席し、3月に作成、提出した「＜提言＞ 島根一の社会教育・生涯学習振興・推進都市浜田市をめざして」について内容の説明を行った。

イ 5月9日：社会教育委員の会に出席し、社会教育の課題等についてアドバイスをを行った。

ウ 5月14日：生涯学習課定例課内会議（5月）に出席し、アドバイスタイトムにおいて日本福祉大学の11年間の継続研究の成果「趣味や運動の会参加で介護費が減少した」について、概要の説明を行った。

エ 5月24日：浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業選考委員会に出席し、選考委員として審査選考活動を行った。

オ 6月5日：生涯学習課6月定例課内会議に出席し、昨年末の中教審答申に伴う社会教育法等法律改正の進捗状況について情報提供を行った。

カ 6月5日：令和元年度第1回浜田市総合教育会議に出席し、中央教育審議会答申、＜提言＞「島根一の社会教育・生涯学習振興・推進都市浜田市をめざして」について説明を行った。

キ 6月20日：浜田商業高校で開催された生徒による課題研究プレゼンテーションでのアドバイスをを行った。

ク 7月31日：浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業選考委員会に出席し、選考委員として事業ヒアリング、事業選考業務を行った。

ケ 9月20日：地域政策部政策企画課より協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会の概要の説明と副委員長、部会長への就任への依頼を受け、今後の進め方について協議を行った。

コ 11月5日：浜田市協働のまちづくり条例検討委員会、コミセン化部会に出席し、検討委員会副会長、コミセン化部会部会長に選出され、役職としての業務を行った。

(3) 一年間の活動の総まとめとしての提言書の作成を行った。

＜提言＞

協働のまちづくりと社会教育・生涯学習の推進に向けた新たな体制の構築に向けて

特色あるふるさと教育事例集及び海洋教育実施概要集について

令和元年度ふるさと教育推進事業における「特色あるふるさと教育事例集(A4 25 ページ)」及び令和元年度海洋教育推進事業における「実施概要集(A4 18 ページ)」を作成しましたので、その事業一覧を次のとおり報告いたします。

学習内容は、自然、歴史、防災、平和、農業、地域の課題解決、神楽、地元企業等多義にわたるものです。

今後も部署を横断したこの授業にご協力をお願いいたします。

なお、冊子につきましては、庁内掲示板にアップするほか、庁議の皆さまには、改めてお送りいたします。

1 令和元年度 ふるさと教育推進事業 特色あるふるさと教育事例（小学校）

頁	学校	学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
1	原井小	4 年	総合	浜田の海と共に生きる	地域の自然（海）に親しむ
2	雲雀丘小	3・4 年	総合	みんなが幸せに暮らせる社会を目指して	地域に貢献しようとする意欲の喚起
3	松原小	5 年	総合	ぼくたち、北前探検隊！	江戸時代の北前船について調べ、郷土への愛と誇りを深める。
4	石見小	2 年	生活	やさいもをしよう	収穫の喜びを味わうとともに、地域の方とのふれあいを通して地域への親しみをもつことができる。
5	美川小	6 年	社会	浜田の歴史を探ろう	幕末の浜田藩や美川地域で起こった出来事について、現地で地域の人と関わり合いながら学び、地域への愛着と地域の発展を願う気持ちをもつ。
6	周布小	6 年	総合	戦争と平和について考えよう	地域の人と交流しよう
7	長浜小	2 年	生活	もっとなかよし まちたんけん 柿田神楽面工房・植田蛇 胴製作所へ行こう！	地域の人との関わりを通して、石見神楽やそれらに携わる人々に親しみや愛着がもてるようにする。
8	国府小	6 年	総合	卒業プロジェクト 「ありがとうの会」	卒業を前に6年間の「ふるさと教育」を振り返り、今までお世話になった地域の方々に学んだことや感謝の気持ちを伝える。
9	三階小	5 年	総合	THE防災	・自然が起こす現象を知り、自分たちが住んでいる地域について知る。 ・災害から自分たちの身を守るためにできることを考え、実際の生活に活用できる力をつける。
10	雲城小	5 年	総合	小国田んぼの米づくり	ふるさと金城のよさや、そこに住む人たちの思いにふれることで、自分たちに何ができるかを考える。
11	今福小	全校	生活 総合	もち米づくり	田植えからもちつき会までの活動を通して、季節の移り変わりを感じたり、地域の自然や人に親しみをもち、そのよさに気づいたり、進んで関わろうとしたりする。
12	波佐小	5・6 年	総合	「つなぐ」～もの・人・ 思い～	ふるさと波佐地域の中で、昔から行われている「はたるまつり」と「波佐文化祭」の歴史を調べることにより、地域に対する愛着と誇りをもつことができる。
13	旭小	6 年	総合	旭の未来を考えよう	小学校6年間で学習したふるさとの良さを、地域の人々のつながりに視点をあてることを通して改めて見直し、ふるさと旭町に誇りをもつ児童を育てる。
14	弥栄小	5・6 年	総合	発信しよう ～神楽で地域を盛り上 げよう～	石見地方に古くから伝わる石見神楽の特徴や演目などを体験的に学ぶことを通して、ふるさとの歴史と文化を理解しふるさとを愛し、文化伝承者としての誇りをもつ。
15	三隅小	2 年	生活	どきどきわくわくまち たんけん・もっとなかよ しまちたんけん	ふるさとへの愛着と誇りをもつ
16	岡見小	5・6 年	総合	岡見の素晴らしさを 海から見つめよう！	ふるさとへの愛着・誇りの醸成

※ 総合：総合的な学習の時間

2 令和元年度 ふるさと教育推進事業特色あるふるさと教育事例（中学校）

頁	学校	学年	教科等	単元名	ふるさと教育の視点
17	第一中	2 年	総合	赤ちゃんふれあい体験	乳幼児とのふれあいの体験や、地域の人と関わることで、生徒の豊かな成長につなげていく。
18	第二中	3 年	総合	職場体験学習	地域の事業所で3日間の職場体験学習をし、ふるさとの職業を実際に学ぶとともに、コミュニケーション力や地域社会の一員としてのマナーを身に付けた生徒を育成する。
19	第三中	2 年	総合	企業説明会 (ジョブカフェ in さん ちゅう)	本校のキャリア教育の一環として地元企業や職業についての理解を深め、ふるさとで働くことの意義や良さを知る。
20	第四中	全校	総合	稲作活動（田植え、稲刈り、しめ縄づくり、餅つき）	ふるさとの基幹産業である稲作を自分たちで体験することにより、農業について関心を持たせ、主体的、創造的、協働的に物事に取り組む生徒を育てる。
21	浜田東中	3 年	総合	進路講演会 接遇講座	地域の人とかかわりながら、地域にある素材を活用した学習活動を行うことを通して、豊かな人間性や社会性、表現力やひととかかわる力などを育む。
22	金城中	全 学年	総合	ふるさと学習 ハッチョウトンボを守 ろう！	・地域の「ひと・もの・こと」の活用 ・ふるさとへの愛着や誇りの醸成
23	旭中	2 年	総合	修学旅行を通してふる さと旭の良さと課題を 見つけよう	自分たちの住んでいる地域と都会とを比較をすることで、地域の魅力や、課題に対する対策についての考え方を深める
24	弥栄中	1 年	総合	弥栄の未来を考える	・地域との交流を通して、故郷に愛着をもち、すすんで地域社会に貢献しようとする態度を育てる。 ・地域社会の実態を知り、自分の考えを持ち発信する力を育てる。
25	三隅中	全 学年	美術	スケッチ大会	描くことを通して、ふるさとの自然の美しさに触れ、ふるさとのよさに感動する心を培う。

※ 総合：総合的な学習の時間

3 令和元年度海洋教育推進事業 海洋教育実施概要

No.	学校名	学年	教科等	単元名又は授業名	めあて・目標	視点	関係機関・団体
1	原井 小学校	4 年	総合	浜田の海と共に生きる～ 海の魅力を紹介しよう～	浜田の海の魅力に触れる活動を通して、ふるさと浜田の海やそこに生きる生物の生命を守ろうとする態度を養う。	活かす	浜田の海で生活する会
2	雲雀丘 小学校	3～6 年	体育	海に親しもう	浜田市の豊かな自然のなかで体験活動をすることで、豊かな情操を養うとともにふるさとの魅力を体感する。	親しむ	三隅 B & G 海洋センタ ー
3	松原 小学校	5 年	総合	ぼくらは、外ノ浦探検隊！	北前船によって様々な物や文化が浜田に伝えられたことを知る。浜田市の輸出産業が日本の輸出産業にて重要な役割を担っていることを知る。海を大切にしていきたいという思いをもつ。	親しむ	浜田市観光課、浜田市 文化振興課、TSK、日本 財団海と日本 PROJECT
4	石見 小学校	3 年	総合	調べよう、浜田の塩	藻塩づくり体験を通して、ふるさと浜田市の海のすばらしさに気づく。	親しむ	浜田の海で生活する会
		4 年	総合	ふるさと浜田の魅力、再発 見！！	ヌー体験を通して、ふるさと浜田市の海や川のすばらしさを知る。	親しむ	B&G 海洋センター
5	美川 小学校	全学 年	図工	絵ハガキにふるさとの海 を表そう	アクアスにいる海の生物や身近な海の風景などを絵ハガキに描くことを通して、ふるさとの海に対する愛着を深める。	親しむ	しまね海洋館アクアス
6	周布 小学校	5 年	社会	水産業のさかんな地域	我が国の水産業の様子に関心をもち、水産業が盛んな地域の生産活動について意欲的に調べたり、日本の水産業の仕組みについて考えたりしようとする。	知る 守る	
7	長浜 小学校	5 年	総合	カヌー体験	海での自然体験活動を通して、海の大切さや海で遊ぶ楽しさを知る。 水遊びのときに、気をつけることを知る。	親しむ 知る	三隅 B&G
8	国府 小学校	2 年	生活科	生きものなかよし大作せ ん	生き物を採集したり，観察したりする活動を通して，生き物への親しみをもち，ふるさとの生き物を大切にしようとする態度を育てる。	親しむ	しまね海洋館アクアス
		3 年	総合	ぼくたちの宝物 ～国府の 海を調査せよ～	わかめ干しやわかめの調理，畳ヶ浦の調査を通して，身近にある国府の海に親しむ。	親しむ	国府公民館 観光ボランティア
		4 年	総合	こくふっこ環境調査隊〔ふ るさとの海を守ろう〕	地域の川や海の水質調査を通して，水辺の環境保全に興味をもち，環境を守る活動や環境の大切さを発信する取り組みから，ふるさとの自然を守っていこうとする態度を育てる。	知る 守る	しまね海洋館アクア ス・浜田市役所環境課・ 下府川を楽しむ会
		4～6 年	クラブ	魚釣りを体験しよう	魚釣りを体験しよう	親しむ	しまね海洋館アクアス
9	三階 小学校	5 年	社会	貿易について知ろう・考え よう	我が国や浜田の貿易について知り，海を介して貿易がなされていることの認識を深める。	知る 活かす	財務省神戸税関 浜田税関支署
10	雲城 小学校	4 年	総合	金城の宝「ハッチョウチョ ウトンボ」を守ろう	金城の宝であるハッチョウチョウトンボの保全活動を通して、山を守ることが海洋を守ることにもつながることに気づくことができる。	守る	ハッチョウチョウトン ボ妖精の守り人
11	今福 小学校	5 年	総合	浜田の魚を調理して食べ てみよう	地元の魚を自分で調理し，食べる活動を通して，地元の水産業への興味・関心を高める。	親しむ 知る	浜田市水産業振興協 会，浜田市水産振興課
12	波佐 小学校	3・4 年	総合	周布川を調べよう	海の自然や資源，海を取りまく人や社会との深い関わりについて関心をもち，進んで調べようとする児童を育成する。	知る	しまね海洋館アクアス
13	旭 小学校	2 年	生活科	生きもの なかよし大作せ ん（海の生き物をしろう）	海にすむ生物に関心をもち，生物の多様性に気付き，自分たちと同じように生命をもっていることに気付くとともに，生き物に親しむ気持ちを持つことができるようにする。	知る	しまね海洋館アクアス
		4 年	学 級 活 動	「食べてみよう！地域で とれる食材や食品」	地域の産物に興味をもち，日常の食事と関連づけて考えることにより，郷土を身近に感じるとともに，食べ物，食事に感謝する心を育てる。	活かす	旭学校給食センター
		5 年	社会	「水産業のさかんな地域」	我が国の水産業に関心を持ち，水産業が自然環境を生かして営まれ国民の食生活を支えていることや，水産物には外国から輸入しているものがあること，主な漁場の分布，水産業に従事している人々の工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ輸送の働きを理解するとともに，国民生活を支える水産業の発展について考えようとする。	活かす	
14	弥栄 小学校	3・4 年	総合	環境守り隊	地域の自然に触れ、自然環境を守るために自分たちでできることは何かを考える。	守る	杵束公民館 安城公民館
15	三隅 小学校	5 年	総合	三隅の海を知ろう	ふるさとの海について学習し、地域の海の良さや素晴らしさを知るとともに、ふるさとの海を守るためにどのようにすればよいかを考える。	親しむ	福浦漁港 漁業組合
16	岡見 小学校	5・6 年	総合	岡見の素晴らしさを海か ら見つめよう！	岡見を海から見つめたり，地域の方に岡見の自然について話を聞いたりすることで，ふるさと岡見の素晴らしさに気づき，ふるさとを誇りに思う心を育てる。	活かす	岡見地区自治振興会 岡見須津船頭会 JF しまね 西部県民センター
17	美川 幼稚園			マリンスポーツを楽しもう 「カヌー体験」	カヌーに乗る楽しさを知ったり並みを感じたりする。	親しむ	三隅 B&G

※総合：総合的な学習の時間